



第80回国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技 2/5までの結果

アイスホッケー競技成年男子、圧倒的な試合展開で2年連続ベスト8進出！！

2/4（水）に青森県八戸市と三沢市の3会場で開幕したアイスホッケー競技。
今大会1回戦からの出場となった成年男子チームの攻撃が初戦から爆発した！

【2/4（水）1回戦 vs 福島県 FLAT HACHINOHE（八戸市）】

第1ピリオド 4-0 第2ピリオド 3-0 第3ピリオド 2-0 合計 9-0 勝利

背番号14の平嶋高太郎選手（法政大学）が1得点4アシストと氷上で躍動した！

【2/5（木）2回戦 vs 沖縄県 三沢アイスアリーナ（三沢市）】

第1ピリオド 1-0 第2ピリオド 1-0 第3ピリオド 1-1 合計 3-1 勝利

2得点1アシストで全得点に絡む活躍を見せた背番号7の芹野泰良マックスナー選手（法政大学）は会場がどよめくプレーを連発した！

この結果により、本県成年男子チームは2年連続となるベスト8進出を決めた。

成年男子チームのコーチを務める県アイスホッケー連盟長澤誠治理事長は「ベスト8は必ず掴まないとはいけなかった結果であり、少しでも上位で大会を終えることができるよう、残りの試合もしっかりと戦い抜きます！」と残り3試合への意気込みを語った。



攻め込む平嶋選手（赤14番）



シュートを決める芹野選手（青7番）

アイスホッケー競技少年男子、得意の形でゴールも滋賀県選抜に力負け。

成年男子同様、アイスホッケー競技少年男子1回戦が行われた。

本県少年男子チームは、練習拠点となるオービジョンアイスアリーナを中心に県内各地の学校から集結して選抜チームとして活動している。一方、対戦相手である滋賀県チームは、選手15人中14人が先月行われたインターハイでベスト8に入った光泉カトリック高校の選手である。

【2/4（水）1回戦 vs 滋賀県 テクノルアイスパーク八戸（八戸市）】

第1ピリオド 0-1 第2ピリオド 0-4 第3ピリオド 1-1 合計 1-6 敗退

キャプテン 菊池 慶 選手（県立光陵高校・3年）

自分たちの力が通用しなかったわけではないですが、相手はほぼ単独チームであったため、チーム力の大事さを実感しました。ただ、第3ピリオドで1点取れて同点だったので、やってきたことが出せてよかったです！

前岡 銀月 選手（県立稲築志耕館高校・3年）

得点のシーンは、自分が得意としている相手のキーパーの死角を突いたシュートだったので、いつも通り決めることができよかったです。来年はふるさと選手として、成年チームで先輩方に負けぬシュートを決めたいです！

冬季競技初となる映像サポート！今後に生きる活動に！

映像サポートとは、県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）の医科学サポート事業であり、ラグビーやバスケットボールなどチームスポーツへ映像による分析・フィードバック等をサポートするものである。今回、冬季競技では初となる映像サポートをアイスホッケー競技少年男子チームに行った。九州ブロック大会の試合映像や対戦チームの試合映像等を活用し、少年男子チームに情報提供した。

現地でサポートにあたった県立スポーツ科学情報センター木下直洋健康科学係長は「初めてアイスホッケー（少年男子）の映像サポートをさせていただきました。初戦で対戦する滋賀県チームの試合映像を活用し、対策動画を作成し、チームに提供できました。次年度も引き続きサポートしたいと考えており、県アイスホッケー連盟と連携しながらサポート体制をさらに充実させていきたいです。」と話した。



試合後の少年男子チーム



シュートを決めて喜ぶ前岡選手（手前）



現地での映像サポート

2/5（木）終了時点での本県の成績 男女総合5位 女子総合4位

スケート競技会・アイスホッケー競技会も残り3日！

FIGHT!
TEAM 福岡！！



県スポーツ協会
公式 Instagram

@SPORTS_FUKUOKA